



# 北野の風に乗せて

北野小学校 校長室だより

第 1 号

令和5年4月21日 (金)

北野小学校長 本郷 一毅

## あいさつ 挑戦 思いやり

新学期が始まって2週間が過ぎました。子供たちは、よいスタートができています。担任の先生たちも、毎日とても張り切って子供たちと接しています。私は、この北野小学校が、子供も、先生も、保護者や地域の皆さんも、みなさんの笑顔があふれる学校にしていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

さて、始業式と入学式で子供たちに「今年度ががんばってほしいこと」として、1年生には2つのこと、2～5年生には3つのことを話しました。はじめの2つは、同じ内容です。

1つめは「あいさつ」です。入学式では、1年生にこう話しました。

「あいさつをしっかりとすることです。おはようございます。こんにちは。さようなら。友達や先生たちだけでなく、みんなを見守ってくれる地域の人たちにも、明るく元気のよいあいさつができるといいです。気持ちのよいあいさつができる、心が元気になって、笑顔が増えていきます。」

あいさつは、人とのコミュニケーションの基本です。みんなの笑顔のために、あいさつがしっかりできる子供たちでいてほしいと願っています。

2つめは「挑戦」です。同じく、入学式ではこう話しました。

「チャレンジ・挑戦です。もう少しわかりやすい言葉で言うと、『やってみよう』という気持ちをもつことです。失敗を怖がらなくて大丈夫。失敗したって大丈夫。友達や先生が助けてくれます。おうちの人も応援してくれます。挑戦することは楽しいことです。楽しいことがたくさんあれば、笑顔もたくさんになります。」

子供たちがいろいろなことに主体的に挑戦する姿は、輝いています。成功すれば、大きな喜びになります。失敗しても、そこから多くのことを学ぶことができます。むしろ、失敗から学ぶことの方が多いかもしれません。臆せず、挑戦する子供たちを、見守り、支え、励ましていきたいと思っています。

4月10日に転入があつて、1名増えました。

3つ目は「思いやり」です。北野小学校では542名の子供が集団生活をしています。みんなが気持ちよく、笑顔で過ごすために、思いやりの心は欠かせません。思いやりの心を大切に、互いに協力し合つて学校生活を送っていくことを願っています。思いやりのあふれる学校は、笑顔がいっぱいの学校になります。

令和5年度は、これらのことを大切にしながら、子供の居場所づくり、楽しい授業を目標に据えて、職員一同、教育活動を進めてまいります。保護者の皆様にも、ご理解とご協力をお願いします。学校とご家庭が力を合わせて、子供たちの成長を支えていきたいと考えています。



レンゲの花がいっぱいに咲いた田んぼの横を  
通つて、子供たちは登校してきます。



4月6日(木) 入学式を挙行了しました。 みんなとっても立派な態度で参加できました。



4月10日(月) 5年生が北野廃寺へピクニックに出かけました。 新しいクラスメイトと仲よく過ごすことができました。



4月10日(月) 退任式を行いました。 丹羽校長先生はじめ、お世話になった13名の先生方とお別れをしました。



4月20日(木) 避難訓練を実施しました。 いざというとき、子供たちの命を守るための大切な訓練です。真剣に行いました。